



Report 1

2021.11.8 Mon.
フューチャーコンパス 第29回 講演会

演題「事業家の志に寄り添い、匠の技を未来へ継承する新しいPE投資のかたち」

参加者：約40名

【講師】志本(株) 代表取締役 三浦 亜美 氏

プロフィール／名古屋市出身。2013年、(株)imaを創業。(一社)awa酒協会の立ち上げや杜氏の技をサポートするAI-sakeプロジェクトに従事。2020年に志ある企業の事業承継をサポートする投資会社として志本(しほん)(株)を創業。レガシー産業にテクノロジーや金融を実装させ、現代へのアップデートに取り組む。



【講演要旨】

1. 「志」のある経営こそがVUCAを生き抜く

日本は、創業100年、200年の企業数ランキングで世界1位※になるなど長寿企業が多い。これは、社会の課題を私事(わたくしごと)と捉え、周囲の事業者も仲間として支えあう習慣が昔から根付いているためではないだろうか。

私は株主至上主義にならず、和を大切にする「心」や「志」のある経営こそが、不確実性が高い今の世界で未来を切り拓く、持続可能な仕組みだと考えている。長くレガシーを築いてきた、志ある企業には、ユニークなノウハウや腕の良い職人など、世界にアピールできる匠の技が残るケースも多い。

※ https://consult.nikkeibp.co.jp/shunenjigyo-labo/survey_data/l1-03/

2. PE投資を通じた事業承継支援

これまで長く活躍してきたレガシー産業が、抱えている共通課題の一つが事業承継である。私はこれらの企業がもつ匠の技や伝統文化を守り育てたいと考え、経営者が納得できる形で事業を引き継ぐ後継者の役割を担える主体として、投資会社を創業した。

志本(株)では、一般的なPE(プライベートエクイティ)投資のスコープから外れてしまうような、利益規模の小さい企業も投資対象とし、2/3以上の議決権を取得して、経営権を一時的に預かる。

投資価値の最大化や短期的な経済リターンのみをものさしとせず、企業価値の向上、社会的価値の最大化、地域経済への貢献度などを重視した独自の基準で投資先を選定している。資金面に限らず、経営への幅広い伴走支援を通じて、経済合理性だけでは測る事の出来ない匠の技の支援を目指している。

3. 日本らしい新たな金融の仕組みをつくりたい

日本では、古来より株主利益の追求だけではなく、近江商人の「三方よし」のような、社会全体の利益を考える支え合いの精神や、「頼母子講」のような共済の仕組みがあった。日本的な商習慣の良い点を積極的に取り入れながら、志をもって世界変革に取り組む経営者を応援する、ユニークな経済モデルを提案して世界に発信していくとともに、匠の技を未来へ継承していきたい。



CENT Pitch(Central Japan Open Innovation Pitch:中部圏オープンイノベーションピッチ)は、中部圏のオープンイノベーションおよびスタートアップ・エコシステムの形成を目的としたイベントで、名古屋大学オープンイノベーション拠点(OICX)とナゴヤ イノベーターズ ガレージが毎月主催している。今回は、7月に開催した「大学発スタートアップ特集」に引き続き、Plug and Play Japan(株)と共同で特別企画「CENT Pitch 拡大版」を開催。ナゴヤ イノベーターズ ガレージの会場とオンラインをあわせて約100名が参加した。

1. 発展する画像解析技術

CENT Pitch拡大版第2弾のテーマは「画像解析特集」。画像解析技術は、深層学習が用いられることにより近年劇的に発展し、数多くのスタートアップ企業が参入した。また、それによって、非常に多くの製品やサービスが登場している。

画像解析を手掛けるスタートアップ企業によるプレゼンテーションの前に、名古屋大学イノベーション戦略室の田中特任教授より、画像解析技術のトレンドや、画像から動画へ、二次元から三次元へと発展している最新の研究動向を紹介いただいた。

2. Startup Pitch

東京・千葉・静岡・愛知から、画像解析をコア技術とするスタートアップ企業4社が登場。「人工衛星画像を用いた計測」「スマホ撮影で体の各部位の動きが計測できるモーションキャプチャーアプリ」「異常行動を検知する行動認識AI」「小型ドローンによるインフラメンテナンス」など、さまざまな技術によるソリューションが紹介された。

各社5分のプレゼンテーション終了後には、コメンテーターからのアドバイスやQ&Aセッションの時間を設け、技術の強みを生かした新たな事業展開や事業会社との協業の可能性など、さらなる成長に向けて活発なディスカッションが展開された。

3. スタートアップ企業をさらに深掘り

ピッチ終了後には、名古屋大学の田中特任教授とPlug and Play Japan(株)の石田Program Managerをモデレーターに、パネルディスカッションを実施し、ピッチを行った4名が登壇した。「会社のモットー」「現状の課題や技術開発での苦労話」「ユーザーエクスペリエンスの観点での工夫」「今後展開したい業界」など、ピッチでは得られない情報を中心に、登壇企業の活動や想いをさらに深掘りした。画像解析のエキスパート同士の意見交換は、コラボレーションの話題に発展するなど「画像解析」をキーワードにした新たな交流の機会となった。

今回の登壇者

登壇者(写真左から)	PRポイント・WEBサイト
てんもく 井村 多加志 氏	人工衛星画像を用いた山林被害の通知・ 処理支援サービスの開発 https://tenmoku.co.jp/tenmoku/
(株)SPLYZA 土井 寛之 氏	スポーツのゲーム分析ツールの開発など、 スポーツ×教育を支援 http://www.splyza.com/
(株)アジラ 山下 勝也 氏	行動認識AIを用いた防犯セキュリティにより、 犯罪や事故を未然に防ぐ https://www.asilla.jp/
(株)Liberaware 富田 竜太郎 氏	屋内専用小型ドローンの開発による狭く、 暗く、汚れた空間にある設備のメンテナンス https://liberaware.co.jp/

本イベントの問い合わせ先: (株)カチノデ info@kachinode.com / ナゴヤ イノベーターズ ガレージ info@garage-nagoya.or.jp